

渡良瀬遊水地エリア エコロジカル・ネットワーク形成アクションプラン

- I なぜ、渡良瀬遊水地エリア エコロジカル・ネットワーク形成アクションプランが必要なのか。
- II 渡良瀬遊水地エリア エコロジカル・ネットワーク形成アクションプランで実践する「3つのプロジェクト」
 - プロジェクト1: 渡良瀬遊水地エリア エコネット拠点100選作成と広報
 - プロジェクト2: エコツーリズム
 - プロジェクト3: 田んぼの生き物調査
- III 関連性のある既存組織との連携

2019年5月10日(金)

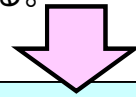
渡良瀬遊水地エリア エコロジカル・ネットワーク推進協議会
渡良瀬遊水地エリア検討部会

I なぜ、渡良瀬遊水地エリア エコロジカル・ネットワーク形成アクションプランが必要なのか？

渡良瀬遊水地エリア エコロジカル・ネットワーク推進協議会設立趣旨(抜粋)

トキやコウノトリなどを指標とした河川(渡良瀬遊水地を含む)及び周辺地域で、多様な生物の生息可能な自然環境の保全・再生方策を推進し、賑わいのある地域振興・経済活性化方策に取り組むとともに、広域連携モデルとしてのエコロジカル・ネットワークの形成による魅力的な地域づくりを実現することを目的とする。

渡良瀬遊水地エリアエコロジカル・ネットワーク推進協議会渡良瀬遊水地エリア検討部会(以下、「検討部会」という。)では、上記の目的の実現を円滑に進めるための取り組みを実践する。



目的を達成するため、具体的に何をやる？(H30.9.21開催「第5回渡良瀬遊水地エリア検討部会」の議論を踏まえて)

○渡良瀬遊水地エリアエコネット拠点100選

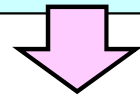
→ 拠点に行く動機付けが必要。拠点に行って、認識や学習を深めることができるのか。情報発信の方法は如何に。

○エコツーリズム

→ 拠点100選からストーリー設定(来訪目的ごとに色々設定する。)。食の拠点(川魚だけじゃない)。コウノトリの採食環境の視点も重要。

○田んぼの生き物調査

→ 渡良瀬遊水地だけでは鳥の採食資源が少ない。渡良瀬遊水地周辺も含めた採食環境調査が重要。



「絵に描いた餅」ではない「期限(2019年度から2020年度)を決めて」、「必ずやるべき事(「3つのプロジェクト」と「関連性の有る既存組織との連携」)」を定めたものが「渡良瀬遊水地エリア エコロジカル・ネットワーク形成アクションプラン(以下「アクションプラン」という。)」です！！

本アクションプラン作成上のポイント

○実際に取り組むのはだれか(抽象的ではだめ。主体は？実働するのはだれ？調整するのはだれ？)

○だれをターゲットにして呼び込むのか。

○地域振興に資するための仕掛けが必要。(経済効果を明確に！！)

○第2調節池で進んでいる湿地再生事業は、渡良瀬遊水地の将来像に大きく影響する。

○詰め込みすぎは良くない。結局破綻する。絶対に実施することを重点化して、短期目標(2020年までの2カ年)で、実施し、その成果を評価する。

Ⅱ アクションプランで実施する3つのプロジェクト

○プロジェクト1: 渡良瀬遊水地エリアエコネット拠点100選作成と広報

- ・「第5回渡良瀬遊水地エリア検討部会」で10市町から提示された拠点案全てを採用(ただし、今後の入替も可)
- ・全ての拠点を網羅する広報ツール(スタンプ(シール)ラリーシートと主要拠点小型パンフ(各拠点の詳細情報を掲載した特設サイトへのQRコード入り):訪れないと貰えないを作成(2019年8月末までに作成)。
- ・フォーマットは、検討部会事務局で作成。記載内容は10市町が作成する。2019年度秋以降に実施する「プロジェクト2:エコツーリズムで配布開始。
- ・多数の拠点(例えば、全10市町各々1箇所以上制覇+α)訪れた方を「渡良瀬遊水地地域活性化支援マスター(仮称)」に認定し、希望者は、「検討部会」開催時に議長から「認定証」を授与する。10市町は取り組みが広く認知されるよう記者発表などで支援する。

○プロジェクト2: エコツーリズム

- ・2019年秋以降にモニターツアー5種類(コウノトリがその時、飛来しているかいないかは、時の運ですが! ? 「歴史(土木遺産含む)へのこだわり1種類」、「環境へのこだわり3種類」、「ハート型へのこだわり1種類」)を実施。
- ・「モニターツアー」ではあるが、商品化に繋げる事が目的なので、「ツアー会社等」とコラボして「有償のモニターツアー」として募集・開催する。「ツアー会社等」とのコラボについては、事務局が主体となり、各部会員・10市町の協力を得ながら展開する。滞在型(1泊2日プラン)とする事が可能となるよう魅力的なプランを構築する。
- ・体験型ツアーが効果的(「外来種除去作戦」、「おさかなワイワイ」や「ヨシ焼き」とのリンクや「手作り巣塔造り」などを盛り込む)である。また、第2調節池を湿地公園に見立てた「ネーミングアンケート」も実施し、検討部会で議論する。
- ・各拠点での説明は、10市町で選定・担当する。事務局による支援も可。
- ・エコツアーの効果と次年度の展開については、「検討部会」において報告・議論。

○プロジェクト3: 田んぼの生き物調査

- ・2018年度と同様に2019年度以降も夏に試行実施。実施箇所は、10市町から各々1箇所以上を「アクションプラン」制定後直ちに推薦。事務局と10市町職員で実施。また、10市町は、HPや市町報を用いて参加希望者を募る。「プロジェクト2:エコツーリズム」にリンクさせる事も検討する。
- ・農政部局の既存調査に参加している子供達にも参加してもらえるよう10市町からの働きかけ。
- ・関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会で検討された関東統一調査手法を用いて実施し、データ整理は事務局が実施し、「検討部会」において報告・議論。

プロジェクト1: 渡良瀬遊水地エリアエコネット拠点100選作成と広報

渡良瀬エコネット拠点一覧

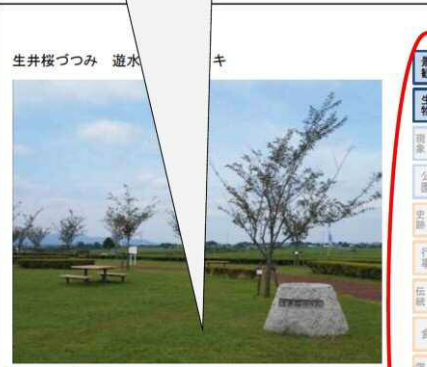
自然拠点		歴史・伝統・文化の拠点	
市町名	拠点名	市町名	拠点名
加須市	オニバス自生地	板倉町	群馬の水郷
	旧川ふるさと公園		川田
	お花が池、お谷が池、善定寺池		行人沼
	浮野の里		利根川・渡良瀬川合流域の水風景観
	風の里		肘曲り池
	中川水辺再生地		大箇野農地防災調節池
	生態園(環境科学国際センター)		大箇野天神池公園
	種足ふれあいの森		朝日野川ふれあい公園
	花咲多目的遊水池		雷電神社
	北川辺ライスパーク		わたらせ自然館
久喜市	道の駅きたかわべ	野木町	高鳥天満宮
	カスリーン公園		のぎ水辺の楽校
	香取公園		ひまわり畑
	沼井公園		野渡橋
	久喜菖蒲公園		煉瓦窯およびホフマン館
	内池		野木神社
	鷹宮神社		きらり館
	静御前の墓		新井家ふるさと記念館
	甘棠院		満福寺
	神明神社の社叢		渡良瀬遊水地環境学習フィールド3
古河市	わたらせ水辺の楽校	小山市	人工巢塔
	ネーブルパーク		ふゆみずたんぼ実験田、なつみずたんぼ
	古河総合公園		小山総合公園
	稲宮の里山		桜づつみ
	古河歴史博物館		田んぼアート
	道の駅まくらがの里こが		道の駅思川
結城市	山川不動尊あやめ園	栃木市	間々田ひも店
	結城市健康の森と日本花の会様の見本園		いちごの里
	結城筑波と鬼怒川		おやま本場結城軸クラフト館
	結城蔵美術館と昔ながらの街並み		まちの駅 思季彩館
	つむぎの館と結城軸の生産地		谷中村史跡安全ゾーンのハート池
五霞町	城跡歴史公園	複数自治体	鷹見台
	結城市観光物産センター		ウオッチングタワー
	行幸湖		いわふねフルーツパーク
	童夢公園		フォレストアドベンチャーおおひら
	ごかみずべ公園		出流ふれあいの森
	道の駅ごか		体験活動センターわたらせ
	(株)キュービー五霞工場		渡良瀬遊水地環境学習フィールド4
	ヤクルト(株)茨城工場		道の駅みかも
	(株)染めQテクノロジー		栃木市藤岡遊水池会館
	栗橋城跡		谷中村史跡安全ゾーン
境町	関宿水閣門	計99拠点	渡良瀬遊水地ハートランド城
	山王地区河川防災ステーション		蔵の街
	珉谷津のホタル水路		ハートのダムカレー店
	さくらの森パーク		三県境(加須市、板倉町、栃木市)
	さかいりバーサイドパーク		関東富士見百景
	境河岸(高瀬舟観光)		川魚料理店
	歴史民俗資料館		
	道の駅さかい		
	ふれあいの里		
	さしま少年自然の家		
猿島コミュニティセンター			

○渡良瀬遊水地エリアエコネット拠点(以下、「拠点」という。)は、エコロジカル・ネットワークの取組の実践拠点である。

○「各拠点の情報(概要、場所、体験できること、など)」を整理(拠点情報を整理したインベントリーシート of the イメージ)する。また、「プロジェクト2:エコツーリズム」における来訪箇所は、原則、「拠点」から設定する。

○インベントリーシートの形式で整理した情報は、特設サイト(事務局作成)に掲載、QRコードを記載した「スタンプ(シール)ラリーシート」や「主要拠点小型パンフ(形状は、ダムカードをイメージ)」からアクセス可能

1.写真とともに拠点の概要、魅力を伝える




生井桜づつみ 遊水地


2.拠点での取組を実施主体別に整理

取組内容	《小山県 渡良瀬遊水地エコツーリズムガイド協会》 ボランティアガイドによるツアーを実施 《おやま田んぼアート実行委員会》 田んぼアート事業の箇所のうち一つが近接、多数の観覧者が訪れる 《小山市》 第二調節地での試験掘削により創出された水辺を環境学習フィールドとして活用
場所	栃木県小山市下生井 マップ●●●●
問合せ先	小山市*****課 (電話) 0285-**-****
アクセス	JR 関々田駅西口から車で20分 駐車スペースあり

3.テーマ、場所のタブを表示



4.景観、取組内容など補足情報を掲載



田んぼアート

5.交通、利用料金、定休日、駐車場等の情報

渡良瀬エコネット拠点一覧

自然拠点 歴史・伝統・文化の拠点		市町名	拠点名	市町名	拠点名
加須市	オニバス自生地	板倉町	群馬の水郷	野木町	のぎ水辺の楽校
	旧川ふるさと公園		川田		ひまわり畑
	お花が池、お谷が池、善定寺池		行人沼		野渡橋
	浮野の里		利根川・渡良瀬川合流域の水風景観		煉瓦窯およびホフマン館
	風の里		肘曲り池		野木神社
	中川水辺再生地		大箇野農地防災調節池		きらり館
	生態園(環境科学国際センター)		大箇野天神池公園		新井家ふるさと記念館
	種足ふれあいの森		朝日野川ふれあい公園		満福寺
	花咲多目的遊水池		雷電神社		渡良瀬遊水地環境学習フィールド3
	北川辺ライスパーク		わたらせ自然館		人工巣塔
道の駅きたかわべ	高鳥天満宮	ふゆみずたんぼ実験田、なつみずたんぼ			
カスリーン公園		小山総合公園			
久喜市	香取公園	野木町	桜づつみ	小山市	田んぼアート
	沼井公園		野木神社		道の駅思川
	久喜菖蒲公園		きらり館		間々田ひも店
	内池		新井家ふるさと記念館		いちごの里
	鷲宮神社		満福寺		おやま本場結城紬クラフト館
	静御前の墓				まちの駅 思季彩館
古河市	甘棠院	小山市	谷中村史跡保全ゾーンのハート池	栃木市	鷹見台
	神明神社の社叢		ウォッチングタワー		いわふねフルーツパーク
	わたらせ水辺の楽校		いかわねフルーツパーク		フォレストアドベンチャーおおひら
	ネーブルパーク		出流ふれあいの森		体験活動センターわたらせ
	古河総合公園		体験活動センターわたらせ		渡良瀬遊水地環境学習フィールド4
結城市	稲宮の里山	小山市	道の駅みかも	栃木市	栃木市藤岡遊水池会館
	古河歴史博物館		谷中村史跡保全ゾーン		谷中村史跡保全ゾーン
	道の駅まくらがの里こが		渡良瀬遊水地ハートランド城		渡良瀬遊水地ハートランド城
	山川不動尊あやめ園		蔵の街		蔵の街
	結城市健康の森と日本花の会桜の見本園		ハートのダムカレー店		ハートのダムカレー店
	結城筑波と鬼怒川		三果境(加須市、板倉町、栃木市)		三果境(加須市、板倉町、栃木市)
	結城蔵美館と昔ながらの街並み		関東富士見百景		関東富士見百景
五霞町	つむぎの館と結城紬の生産地	板倉町	川魚料理店	複数自治体	
	城跡歴史公園				
	結城市観光物産センター				
	行幸湖				
	童夢公園				
	ごかみずべ公園				
	道の駅ごか				
	(株)キューピー五霞工場				
	ヤクルト(株)茨城工場				
	(株)染めQテクノロジー				
境町	栗橋城跡	板倉町	計99拠点	複数自治体	
	関宿水閘門				
	山王地区河川防災ステーション				
	境河津のホタル水路				
	さくらの森パーク				
	さかいりバーサイドパーク				
	境河岸(高瀬舟観光)				
	歴史民俗資料館				
道の駅さかい					
境町	ふれあいの里	板倉町		複数自治体	
	さしま少年自然の家				
	猿島コミュニティセンター				

渡良瀬遊水地エリアエコネット拠点 シールラリーシート(イメージ)



2019年8月

渡良瀬遊水地エリアエコロジカル・ネットワーク推進協議会
渡良瀬遊水地エリア検討部会



各拠点の詳細情報はコチラ→

渡良瀬遊水地エリアエコネット拠点 シールラリーシート(イメージ)

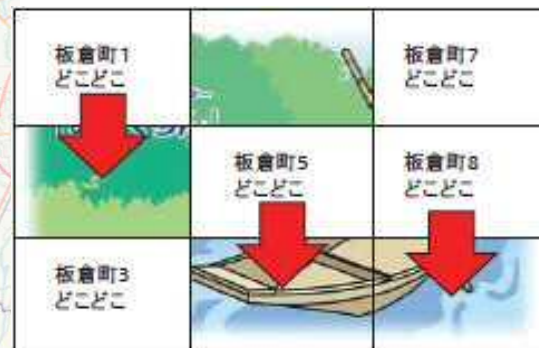
自治体名 拠点名	自治体名 拠点名	自治体名 拠点名
自治体名 拠点名	自治体名 拠点名	自治体名 拠点名
自治体名 拠点名	自治体名 拠点名	自治体名 拠点名

自治体名 拠点名	自治体名 拠点名	自治体名 拠点名
自治体名 拠点名	自治体名 拠点名	自治体名 拠点名
自治体名 拠点名	自治体名 拠点名	自治体名 拠点名

自治体名 拠点名	自治体名 拠点名	自治体名 拠点名
自治体名 拠点名	自治体名 拠点名	自治体名 拠点名
自治体名 拠点名	自治体名 拠点名	自治体名 拠点名



例えば、板倉町内の拠点が
9箇所だった場合
町内4拠点を巡った場合



町内拠点全制覇！！



<シールの入手方法>

- 無人の拠点の場合は有人の拠点で、シールを受領することとなる。(実際に来訪したか否かの確認は不要。少なくとも、有人の拠点には来てくれているのだから……。)
- 有人の拠点では、主要拠点小型パンフも配付する。

プロジェクト2: ツーリズム

「歴史(土木遺産含む)へのこだわり1種類」、「環境へのこだわり3種類」、「ハート型へのこだわり1種類」をテーマに「有償モニターツアー(滞在型)」の内、2種類を初年度秋以降に実施する。

「歴史(土木遺産含む)へのこだわり1種類」

<初 日> 東武日光線新古河駅集合→古河公方公園(川戸台遺跡(古代の製鉄遺跡)、古河公方、古河城跡(ガイド有り))→野木神社(坂上田村麻呂ゆかりの神社)→ホフマン館(昼食、煉瓦窯見学)→ハートランド城(コウノトリに関するレクチャーと手づくり巣塔下拵え体験)→谷中村跡(ガイド有り)→渡良瀬貯水機場内・流入堤見学(普段は絶対入れない)→道の駅きたかわべ(展望台と平地三県境)→古河市内ホテル又は小山市内(農泊)に宿泊(希望者には、07:00から2時間程度の夕食会兼勉強会(鳥類や歴史について)有り。)

<2日目> 宿発→第2調節池(手づくり巣塔設営体験)→結城市内(城下町結城で結城紬着付け体験町歩きと昼食)→五霞町内(中之島・関宿水閘門(土木学会選奨土木遺産)ガイド有り)→道の駅ごか→東武日光線栗橋駅(静御前の墓見学(ガイド有り)、クラッセ(商店街)立ち寄り後)解散

※「手づくり巣塔」とは、簡易な資材(竹や縄)で作成する「コウノトリ」用の巣塔。自らが拵えた「巣塔」に「コウノトリ」がやって来て「巣作り」をしたとすれば、その喜びは計り知れない。リピータも期待できる。



「環境へのこだわり3種類」その1(コウノトリの気持ち)

<初 日> 東武日光線新古河駅集合→道の駅きたかわべ(展望台と平地三県境)→板倉町内(水塚見学(ガイド有り)、昼食(コウノトリの食事(デモンストレーション(コウノトリの1日の採餌量川魚500g)とナマズ料理、雷電神社見学)→第2調節池で湿地づくり体験→ハートランド城(コウノトリに関するレクチャーと手づくり巣塔下拵え体験)→いちごの里(デザートにジェラートとお土産購入)→栃木市(蔵の街栃木市を散策(ガイド有り)→栃木市内に宿泊(希望者には、07:00から2時間程度の夕食会兼勉強会(鳥類について)有り。)

<2日目> 宿発→第2調節池(手づくり巣塔設営体験)→ホフマン館(「ピザづくり」又は「間々田ひもづくり」体験、昼食、煉瓦窯見学(ガイド有り))→道の駅さかい→(株)キューピー五霞工場見学→東武日光線栗橋駅(静御前の墓見学(ガイド有り)、クラッセ(商店街)立ち寄り後)解散

「環境へのこだわり3種類」その2(お魚と鳥の気持ち(時期的には冬期に実施))

<初 日>東武日光線栗橋駅集合(静御前の墓見学(ガイド有り)、クラッセ(商店街)立ち寄り)→第2調節池で「おさかなワイワイ(みんなで力を合わせ大きな網で、魚を捕まえ、外来魚を仕分けたり、水生生物の観察をしたり)」を体験→板倉町内(昼食(コウノリの食事(デモンストレーション(コウノリの1日の採餌量川魚500g)とナマズ料理、雷電神社見学、水場景観(環境省認定の重要文化的景観))→ハートランド城(コウノリに関するレクチャーと手づくり巣塔下拵え体験)→道の駅きたかわべ(展望台と平地三県境)→渡良瀬遊水地鷹見台で野鳥観察(ガイド有り)と日没鑑賞→古河市内ホテル又は小山市内(農泊)に宿泊(希望者には、07:00から2時間程度の夕食会兼勉強会(鳥類について)有り。)

<2日目>宿発→第2調節池(手づくり巣塔設営体験)→ホフマン館(「ピザづくり」又は「間々田ひもづくり」体験、昼食、煉瓦窯見学(ガイド有り))→道の駅さかい→(株)キューピー五霞工場見学→鷲宮神社(出雲族の草創に係る関東最古の大社 縁結び)→東武伊勢崎線久喜駅解散

「環境へのこだわり3種類」その3(ヨシ焼き体験(日付指定))

<初 日>東武日光線栗橋駅集合(静御前の墓見学(ガイド有り)、クラッセ立ち寄り)→板倉町内(昼食(コウノリの食事(デモンストレーション(コウノリの1日の採餌量川魚500g)とナマズ料理、雷電神社見学、水場景観(環境省認定の重要文化的景観)見学)→ハートランド城(ヨシ焼きの火入れに関するレクチャー(安全管理について重点的に))→渡良瀬遊水地鷹見台で野鳥観察(ガイド有り)と日没鑑賞→小山市内(ホテル又は農泊)に宿泊(希望者には、07:00から2時間程度の夕食会兼勉強会(鳥類について)有り。)

<2日目>宿発→ヨシ焼き安全祈願祭参加→ヨシ焼き火入れに参加→結城市内(城下町結城で結城紬着付け体験町歩き)→道の駅さかい(昼食、セグウェイ、エアポート体験)→(株)キューピー五霞工場見学→鷲宮神社(出雲族の草創に係る関東最古の大社 縁結び)
→東武伊勢崎線久喜駅解散

「ハートへのこだわり1種類」

<初 日>東武日光線栗橋駅集合（静御前の墓見学(ガイド有り)、クラッセ(商店街)立ち寄り)→道の駅きたかわべ(展望台(谷中湖(ハート型)を展望)と平地三県境)→加須市内(北川辺)昼食(かぞうどん)→十勝甘納豆本舗大和店(甘味とお土産)→谷中湖子供広場レンタサイクルセンター(以下、自転車で移動)→**谷中湖野鳥観察台(野鳥に関するレクチャー)**→渡良瀬貯水機場内・流入堤見学(普段は絶対入れない)→谷中湖子供広場レンタサイクルセンター(自転車返却)→**ハートランド城(コウノトリに関するレクチャーと手づくり巣塔下拵え体験)**→いちごの里(デザートにジェラートとお土産購入)→蔵の街栃木市を散策(ガイド有り)→栃木市内に宿泊(希望者には、**07:00から2時間程度の夕食会兼勉強会(鳥類について)**有り。)

<2日目>宿発→**第2調節池(手づくり巣塔設営体験)**→ホフマン館(「恋人の聖地」ハートのモニュメント「ピザづくり」、「ハート型煉瓦づくり」又は「間々田ひもづくり」)体験、昼食、煉瓦窯見学(ガイド有り)→道の駅さかい→(株)キューピー五霞工場見学→鷲宮神社(出雲族の草創に係る関東最古の大社 縁結び)→東武伊勢崎線久喜駅解散

本アクションプランにおけるプロジェクトとしてのエコツーリズムは、

「エコロジカル・ネットワーク」への「理解者・応援者の裾野を広げる事」と「賑わいのある地域振興・経済活性化」を目的として実施するものであり、敢えて「滞在型有償モニターツアー」取り組むものである。

○「滞在型有償モニターツアー」であるからには、魅力的で価値あるプランとすることが最も重要であり、提示した5種類のプランは、当然「ツアー会社等」のプロの視点から改良されことを前提としている。

○「ツアー会社等」のプロの視点から改良されことを前提としてはいるが、将来的にツアーが商品化された際には、エコロジカル・ネットワーク推進の原動力である「10市町」が漏れなく、**「賑わいのある地域振興・経済活性化」**という果実を得られるよう「滞在型有償モニターツアー」の段階から配慮と工夫をする事とする。

プロジェクト3: 田んぼの生き物調査

平成30年度に実施した「田んぼの生き物調査」実施までの流れ

平成30年度 加須市での例	一般化した準備の流れ	役割分担		
		事務局	自治体	市民(団体)
7月8日(日): 埼玉県生態系保護協会加須支部とともに、調査水田探し	パートナーをみつける パートナーとの交渉、調査実施の同意を得る 調査地を選定する	○		
7月19日(木): 調査実施に向けて、加須市役所と打合せ	自治体に説明・協力依頼	○	○	
7月24日(火): 生態系保護協会加須支部・青木支部長に趣旨説明	実施に向けての事務局内およびパートナーとの細かい調整	○		
7月28日(土): 生態系保護協会加須支部役員に趣旨説明		○		
7月30日(月): 事務局打合せ(於: 利根川上流河川事務所)		○		
7月31日(火): オニバスの会・山中会長および役員にご挨拶と趣旨説明		○		
8月6日(月): 開催日時確定、青木議長等にお知らせ	開催日時の確定 検討部会関係者への連絡	○		
8月11日(土): オニバスフェスタ会場にてオニバスの会会員に調査実施のPR	パートナー組織会員への当日参加の呼びかけ	○	○	
8月17日(金): 加須市ホームページにて広報を実施	(必要に応じて)一般市民への広報	(○)	○	
8月22日(水): 当日開催	当日開催	○	○	○
9月21日(金): 検討部会で実施報告	調査結果とりまとめ、実施報告	○	○	

平成30年度と同様に2019年度以降も夏に試行実施。

平成30年度に実施した「田んぼの生き物調査」とは異なり、実施箇所は、各10市町が1箇所以上を「アクションプラン」制定後直ちに推薦する。

平成30年度調査実施の広報チラシ

オニバスの会のみなさま
埼玉県生態系保護協会 加須支部のみなさま



オニバス自生地での田んぼの生きもの調査のお知らせ

加須市にも飛んできたことがあるコウノトリがずっと暮らしていけるような、自然豊かな地域をつくることをめざして、コウノトリのエサとなる生きものが、田んぼにどのくらいたくさん暮らしているのかをみんなで調べてみます。ぜひご参加ください。

- ・日時: 平成30年8月22日(水) 13:30~15:30 小雨決行、荒天中止
- ・集合場所: オニバス自生地駐車場(詳しい場所は裏面をご覧ください)
- ・持ちもの: 長靴、暑さ対策

当日の予定

13:40~14:30 オニバス試験田で、田んぼの生きもの調査体験

15:00~15:30 加須市役所北川辺支所会議室に移動して、調査を体験しての感想やご意見をお聞かせください



当日の飛び入り参加、お子さまの参加も大歓迎です!

「渡良瀬エコネット」とは…(エコネットとは「エコロジカル・ネットワーク」を略した言葉です)

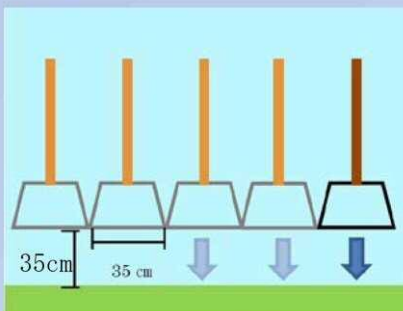
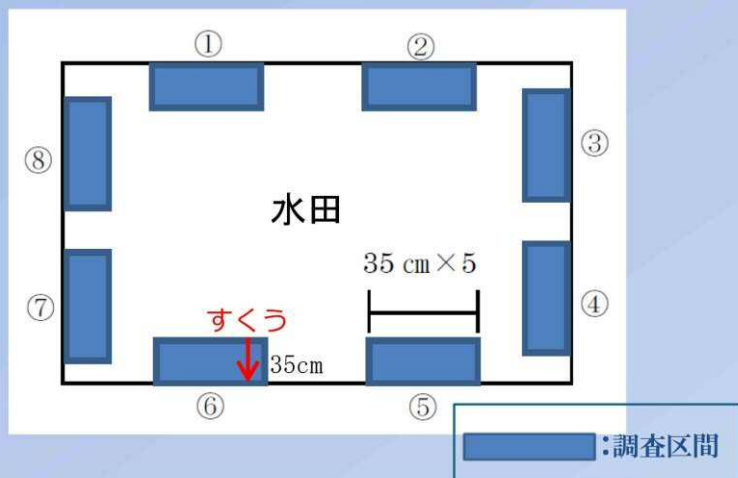
加須市を含む渡良瀬遊水地周辺の4県にまたがる10の市町が協力し合って、「トキやコウノトリ“も”舞う魅力的な地域の実現」を目標に、自然環境を守り、そして自然と自然とをつないでいくという取組みです。コウノトリの定着に向けて、今、田んぼにどのくらい多くの生きものが暮らしているのかをきちんと知る事が、エコネットの取組みの第一歩であると言えます。渡良瀬エコネットは、国土交通省利根川上流河川事務所が市町や地域の市民団体の方々と共に進めているものです。

お問い合わせ先 渡良瀬エコネット事務局運営支援機関 公益財団法人 日本生態系協会
担当: 朝見 清孝 (あさみ きよたか) 電話 048-649-3860

コウネトリ生息環境の関東統一調査方法

(ア) 水田

調査区を1枚の水田につき1辺2か所、計8か所をランダムに抽出する。水田の中に入らないよう、あぜから35cmの場所からあぜへ、水底をなでる(底を深くえぐらない)ように素早く網を引く(すくいどり)。1か所あたり5回網を引き、網に入った泥など余計なものを除くために軽く洗って、引き上げる。

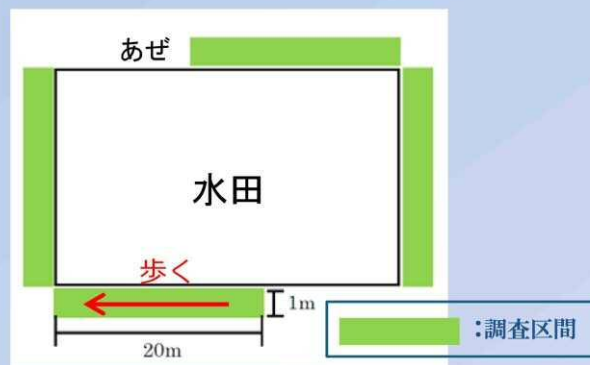


タモ網による採捕方法
(すくいどり)



(イ) 陸域(あぜ道)

1枚の水田で、1辺につき距離20m・幅1mの計80m²で調査する。1辺長が20mに満たない場合は、角を曲がった畦道も加えて合計80mを調査する。道幅が1mに満たない場合は水田内も含めて1mとする。2人体制で前方の調査員はあぜ道を歩きながら幅1mの区画に出現する全長10mm以上の生物の同定、全長を目視で確認し、口頭で後方の調査員に伝える。後方の調査員はそれを受けて調査用紙に記録する。バッタ類・カエル類・ヘビ類が主だが、クモ類も記録に含める。また、種名の同定が難しい場合は、バッタの仲間、カエルの仲間、クモの仲間などの大まかな分類を記録する。



目視による餌生物の確認

結果の報告・提出先について

本調査の調査結果は、以下の宛先に送付いただきますよう、お願いいたします。

<送付先>

渡良瀬遊水地エリアエコロジカル・ネットワーク推進協議会事務局
 (国土交通省 関東地方整備局 利根川上流河川事務所 調査課内)
 〒349-1198 埼玉県久喜市栗橋北二丁目19-1
 F A X : 0480-52-9046
 E-mail : ktr-tonejo-chosa@mlit.go.jp

Ⅲ 関連性のある既存組織との連携

「検討部会」の取り組みは、関連性のある既存の組織との連携によって、シナジー効果が期待できる。

①「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」

渡良瀬遊水地のラムサール条約登録を踏まえ、「湿地の保全」、「湿地の賢明な利用」を図るため、治水機能の向上と継続的な自然環境の保全及び様々な利活用の促進に関し、関係機関及び周辺の住民等が十分に協議を行うことを目的としている。

②「渡良瀬遊水地湿地保全・再生検討委員会」

渡良瀬遊水地の湿地環境等、自然環境の適切な管理のあり方等を検討することを目的としている。

上記①及び②の組織は、設立の経緯や目的が異なっていることから、各々が独立した組織として機能しているが、本検討部会の目的である「渡良瀬遊水地エリアにおいて、多様な主体が協働・連携し、トキやコウノトリなどを指標とした河川(渡良瀬遊水地を含む)及び周辺地域で、多様な生物の生息可能な自然環境の保全・再生方策を推進し、賑わいのある地域振興・経済活性化方策に取り組むとともに、広域連携モデルとしてのエコロジカル・ネットワークの形成による魅力的な地域づくりの実現を円滑に進める。」を実践するためには、「コウノトリを初めとする鳥類」の生息環境の観点からも、今後は積極的に情報の発信を行っていくこととする。

付則

本アクションプログラムは、「検討部会」が策定し、「渡良瀬遊水地エリア検討部会規約 第3条」の規定に基づき、その策定を「渡良瀬遊水地エリアエコロジカル・ネットワーク推進協議会(以下、「協議会」という。)」に報告する。

なお、協議会への報告方法は、検討会議長が定めるものとする。